

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人	代表者	斎藤 妙子	法人・事業所の特徴	家庭的な環境を作り、安心、安全な日常生活を送れるよう支援している。行事、外出支援も充実している。敷地内には、内科があり、往診や緊急時の受診で適切な医療が受けられ、安心した生活を送る事が出来る。
事業所名	小規模多機能 ケアタウン江の浦	管理者	道森 碧		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	1人	人	4人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者に携わる時間を積極的に作り、情報収集を行う。知り得た情報は些細な事でも気づきノートに記入し、利用者が満足や自己実現の尊重へ繋げていく。	利用者との時間を積極的に作り、情報収集をおこなう機会を作ることができた。気づきノートの活用までは至らなかったが、個別の記録や伝達ノートや口頭での申し送りでも些細な事でも情報収集や共有が行えた。	職員の意見交換が良くできているのは、日々の行事や写真からとてもよく伝わってきます。	今後も利用者に関わる時間を多く持つ時間を作り、職員それぞれが知り得た情報を共有し、利用者の満足度の向上に努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染対策継続の規制があり、なかなか外部との交流が難しいが、規制解除までの間は、事業所内の毎月の行事を充実させ、新たな行事の導入等、利用者が満足して頂けるよう努めていく。	感染対策は緩和されたものの感染流行等で外部との交流は積極的に行う事が出来なかった。事業所内の毎月の行事やレクリエーションを充実させ、季節を感じれる飾り付け等工夫する事ができた。	なかなか以前のような環境に戻るのには難しいが、事業所内でよく努力されていると思います。外からも事業所の	施設内外での行事を更に充実させるため、毎月の担当職員で工夫し、季節を感じれる飾り付けや行事内容を更に充実させていく。5 S活動も取り入れる。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ規制は緩和されつつあるが、外部との交流は未だ限られているため状況に応じて、少しずつ地域や外部との交流の機会を設けていく。	感染緩和のため、近くの公園に散歩等の機会を増やしたり、天候の良い日は事業所の玄関前で青空レク等新たな取り組みをし、近隣住民や地域との交流の機会を増やす事ができた。	散歩する様子や青空レクの様子が見え、地域の方達もこちらの施設に入りたいという声もよく聞きます。とても良い事だと思います。	地域の行事にも積極的に参加していく。散歩等で施設周辺の地域の方との交流も引き続き継続していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染対策継続の規制があり、なかなか外部との交流が難しいが、規制解除までの間は、事業所内の毎月の行事を充実させ、新たな行事の導入等、利用者が満足して頂けるよう努めていく。規制状況に応じて、ボランティアの受け入れ等外部との交流や地域行事の参加を計画していく。	感染対策は継続しており、流行等での予防もあり外部やボランティアの受け入れまでは至らなかったが、内部行事やレクリエーションの充実化を図る事ができた、馴染みの場所に外出したり、外出支援の機会も増やす取り組みも行う事ができた。	内部の行事の取り組みに工夫されていて、毎回アルバムや行事の内容を聞くのが楽しみです。地域の行事の情報交換ももっと行い、交流できたらいいですね。	コミュニケーションから、本人が行きたい場所や馴染みの場所等少しずつ外出する機会を増やしたり、近くの保育園との交流を再開し、地域交流を計画していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の出席職員を増やし、外部との交流を強化していく。苦情や相談も、即時に情報共有し、改善に取り組んでいく。	運営推進会議では、地域住民や地域行事の情報交換や、勉強会等の報告等、運営推進会議内でも情報共有を行ったり、昨年度とは違う取り組みに努めた。出席職員も増やせるように努めた。	2か月に1回ここに来るのを楽しみに感じています。こちらで教えて下さった研修の紹介もとても役立っています。	地域行事の情報交換から、参加を計画していく。拠点内勉強会の内容報告も、引き続き行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	BCPの会議や防災訓練実施後も事業所内で話し合い日々防災の意識を高める。また緊急事態時に備え、定期的に緊急連絡網も活用していく。	BCPは、事業所や彦島拠点で会議を開催している。災害対策にて防災訓練の実施を行った。緊急時の連絡網の活用訓練も実施し、事業所内職員全員で、日々の防災に努める事ができた。	この地域は、あまり災害がないが、雨が沢山降った際は道路に水が溜まったり近くのスーパーまで水が溜まる事もあるので、地域の情報交換を今後も行っていきましょう。	防災訓練実施後も事業所内で話し合いを行い、日々防災の意識を高めるよう取り組む。また緊急事態時に備え、定期的に見直しも行い防災に努める。